

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587024501	科目番号 / Subject code	05870245
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会とコンピューティング (情報と社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丹羽 量久		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丹羽 量久		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丹羽 量久, 三根 真理子, 福澤 勝彦, 正田 備也		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 10:30 ~ 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>実社会における「情報」について次の観点から考え、それぞれを理解し、説明できることを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学的視点から理論とその限界について学ぶ ・医療現場における活用事例 ・ソーシャル・メディアに関する技術的話題に触れる ・「情報」の表現・可視化について 		
授業到達目標/Goal	情報システムの社会での利用事例を理解し、位置づけを説明できる		
授業方法 (学習指導法) /Method	主に講義形式で授業を行う。 皆さんの考えや理解の状況を把握して、重要事項や理解不足の事項等についてのフォローを行い、関連知識の確実な習得を目指す。		
授業内容/Class outline/Con	<p>この授業では、「情報」についてさまざまな観点から学んでいく。 最初は、経済学における情報のとらえ方とその事例を自ら考えることで理論というものの優位性と限界を学ぶ。 二つめは、医療分野における情報の活用について学ぶ。 三つめは、ネット検索やソーシャル・メディアに関する技術的な話題から情報を学ぶ。 最後に、情報を視覚的に表現することについて学ぶ。</p> <p>以下の各回の授業内容を示すが、状況に応じて調整を行う。</p>		
キーワード/Key word	情報の価値, ソーシャル・メディア, 医療データベース, 情報の可視化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜関連資料を授業で配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各授業についての報告課題(20%), 各単元で課すレポート(80%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席を原則とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	【ガイダンス】		
第2回	【経済学における情報の考え方】 ・情報の非対称性とは何かについて ・情報の持つ意味と社会での事例を考える		
第3回	【リスクをどう捉えるか - 確率と情報】 ・リスクの評価と情報の価値		
第4回	【人は合理的に情報に反応するのか】 ・人間の合理性の限界 ・非合理的行動を合理的に説明する		
第5回	【医療分野における情報の収集とデータベース構築事例紹介】		
第6回	【情報技術の医療分野への応用】		
第7回	【医療情報ネットワークの紹介】		
第8回	【2回目~7回目の振り返り】 ・受講者へのフィードバック		

第9回	<p>【いま私たちはどんな時代にいるのか】</p> <p>工学技術の歴史を、モノの時代 機能の時代 体験の時代と、3つに分けて説明します。この区分は、エンジニアとユーザとの関係の変化として捉えられます。具体例を挙げながら、この変化について説明します。そして、体験の時代の主要技術としてのソーシャルメディアについて説明します。</p>
第10回	<p>【Webの今】</p> <p>Webの歴史を、検索の時代 ソーシャルの時代 モバイルの時代と、3つに分けて説明します。この区分は、Web上のデータの利用方法における変化として捉えられます。いくつかのWeb上のサービスを例として挙げながら、この変化について説明します。そして、ソーシャルメディアがモバイルの時代への対応を迫られている現状について説明します。</p>
第11回	<p>【ビッグデータとは】</p> <p>現在の情報技術を端的に言い表わす「ビッグデータ」というバズワードの意味を説明します。情報技術の進化によって、世の中がますます「データ」を中心に動くようになっていきます。主にソーシャルメディアを通して世界中で時々刻々作り出されるデータの量の膨大さが、全く新しい情報技術を必要としていることを解説します。</p>
第12回	<p>【Web検索のキホン】</p> <p>Web検索がどのように実現されているかについて、少し工学的な話をします。Web検索では、ユーザがキーワードを入力すると、そのキーワードに関連するWebページが、ランク付きで表示されます。このようなシステムを実現するための技術について説明します。そして、Web検索の時代からソーシャルメディアの時代への移行の必然性についても説明します。</p>
第13回	<p>【ソーシャルネットワーク分析】</p> <p>Webを新たな時代へ導いたソーシャルネットワーク分析という技術について説明します。人と人とのつながりを分析する技術として、計算機の登場以前からあったソーシャルネットワーク分析は、Web上のデータを分析する技術として約10年前に再注目されました。この経緯を解説するとともに、具体例としてPageRankというアルゴリズムを紹介します。</p>
第14回	<p>【情報の表現と可視化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報社会に貢献する可視化
第15回	<p>【9回目～14回目の振り返り、まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者へのフィードバック ・授業の総括
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587024901	科目番号 / Subject code	05870249
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会とコンピューティング (情報化の役割と課題)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丹羽 量久		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丹羽 量久		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丹羽 量久		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>社会で実際に運用されている情報システムがどのような役割を担っているのか、またどのような課題を持っているのかを理解する。</p> <p>日々の暮らしで身近に感じることをテーマとして取り上げるにより社会との関わりを認識させ、かつ「情報分野」が得意でなくても取り組んでいけるように配慮して授業を構成している。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>情報社会における情報システムの役割と仕組みについて理解し、それらを説明できるようにする。そのために、以下のことを習得させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化により生まれる価値の分類(, , ~) ・図書館の利用した文献検索技能(, , , , ~) ・グループでのプレゼンテーションの準備と実施(~ , ,) ・ポートフォリオの構成例(~ , ~) 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>授業で配布するワークシートの課題にしたがって一人一人が学習を進めていく。数名ずつのグループに分かれて、個人の学習成果を共有・発展させていく。適宜、教員によるレクチャーを行い、疑問点を解決させるとともに基礎知識を補足する。学習成果はグループとしてプレゼンテーションを行い、聴講者からの質問に対応しながらさらに内容を発展させていく。</p> <p>授業時間内はメンバー間の議論の時間に充てるため、必ず予習をすませた上で授業に参加すること。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>社会で実際に構築・運用されている情報システムを取り上げて、個人による調べ学習とグループによる共同学習に繰り返し取り組むことにより、情報システムの役割と課題について深く考えていく。</p> <p>次のテーマとキーワードを取り上げる予定にしている。なお、開講時の社会情勢を考慮して変更することがある。</p> <p>「災害発生!その時 ITは何ができるのか?」(パーソンファインダー, ディザスターリカバリー, マッチングギフト)</p> <p>「ITで“学び”が変わる!」(電子黒板, eラーニング, オープンエデュケーション)</p> <p>「より早く より便利に ネットショッピング最新事情」(フリーロケーション, ソーシャルコマース, ジオメディア)</p> <p>「コンビニに“必ず欲しいものがある”理由とは」(POSシステム, マルチメディアキオスク, データマイニング)</p> <p>「1クリックの値段とは? ネット広告の秘密」(検索連動型広告, 位置連動型広告, フリーミアム)</p> <p>以下に各回の授業内容を示すが、受講者数や進捗状況を考慮して、適宜調整を行う予定である。</p>		
キーワード/Key word	情報社会, 情報システム, 業務の情報化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて、授業支援システムを通じて配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	ワークシート, レポート, プレゼンテーション, 最終レポート(ポートフォリオ)のできればを評価する。なお、プレゼンテーションは受講者による相互評価を加味する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席を原則とする。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	<p>【ガイダンス】 授業の内容,進め方,評価方法等の概要を説明する。</p> <p>【情報化について考える】 情報化概論について講義する。</p>
第2回	<p>【情報化について考える】 講義内容を踏まえて,情報システムの開発事例について考察する。</p>
第3回	<p>【情報システムについて考える】 ・グループ分けと担当キーワードの決定</p>
第4回	<p>・担当キーワードに関するパスファインダーの作成</p>
第5回	<p>・グループ内で調査内容の共有,発展のための討論 ・興味あることを連想キーワードとして選択</p>
第6回	<p>・中間発表の準備 各担当スライドを予習で作成し,授業ではその改善に取り組む。</p>
第7回	<p>・中間発表 すべてのグループがプレゼンテーションを行う 視聴しているグループはプレゼンテーションをチェックし,質問を考える。</p>
第8回	<p>・中間発表への質問対応 ・連想キーワードの調査</p>
第9回	<p>・連想キーワードのまとめ ・最終発表の準備</p>
第10回	<p>・最終発表の準備 本番までは,スライドの改善やりハーサルを行う。</p>
第11回	<p>・最終発表の準備</p>
第12回	<p>・最終発表(1/2) すべてのグループがプレゼンテーションを行う。</p>
第13回	<p>・最終発表(2/2)</p>
第14回	<p>・最終レポート この授業で作成してきた資料(ワークシート,スライド等)をひとまとめし,自分の学修活動に対する省察を加えて,ポートフォリオとして完成させる。</p>
第15回	<p>【まとめ】 ・授業の総括</p>
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587025301	科目番号 / Subject code	05870253
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会とコンピューティング (情報通信とコンピュータネットワークのしくみ)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	柳生 大輔		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	柳生 大輔		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	柳生 大輔		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟26		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	d-yagyu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2220		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日16:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	コンピュータ・ネットワークの要素技術や規格・プロトコル等を知ることにより、コンピュータシステムや構成要素がどのような仕組みで稼働しているか、どのような工夫がなされているか、また、どのような性能や信頼性のもとに稼働しているかを理解する。		
授業到達目標/Goal	各回の内容に示す項目について理解し、他者に説明できるようになることを目標とする。なお、本講義の直接の目標ではないが、ITパスポートや基本情報技術者試験のテクノロジ系科目の問題が解けるようになることを目指す。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式での解説を中心として行う。講義中にはLMSを用いたクイズ・アンケートへの参加など、積極的な講義への参加を求める。 教員が示すことがら・キーワードについて、自ら情報端末を用いて調べ、まとめることにより、知識の定着をめざす。		
授業内容/Class outline/Con	以下に、予定する各回の講義内容を示すが、受講者数や進捗状況・理解度により、調整・変更を行う場合がある。		
キーワード/Key word	情報通信, コンピュータネットワーク, 信頼性		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書の採否については未定。授業資料等についてはLACSに掲載する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	課題・レポート40%、小テスト・定期試験45%、講義中の積極的な取組状況15%をもとに、総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席を原則とする。必修PCを毎回持参すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	【ガイダンス】 ・情報の伝送 ・有線通信と無線通信 ・通信の歴史		
第2回	【伝送の形態】を理解する ・一対一と一対多 ・通信と放送 ・全二重と半二重		
第3回	【電磁波の性質】を理解する ・電磁波と電波 ・周波数と波長 ・アンテナ ・周波数帯と特性, 使われ方 ・各自の所有端末が使用する周波数帯を調べる		

第4回	<p>【インターフェースとコネクタ】を理解する 家電製品やPCのインターフェースを例に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターフェース ・コネクタの役割 ・インターフェースとコネクタに求められること ・コンピュータや家電製品の外部インターフェース ・コンピュータのデータ転送用インターフェース
第5回	<p>【ネットワークアーキテクチャ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロトコルと階層 ・階層構造の意味 ・OSI基本参照モデル ・Internet Protocol Suite ・コンピュータ通信の具体例を見る - Webや電子メールのやりとりを例に
第6回	<p>【小テスト（第1回～第5回）】 【通信回線の構造】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用回線と公衆回線 ・多重化 ・パケット交換
第7回	<p>【ネットワークポロジ】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網トポロジ ・アクセス制御 ・衝突検知
第8回	<p>【イーサネット〔第1層～第2層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イーサネット ・MACアドレス ・ARP ・第1層～第3層で用いるネットワーク機器
第9回	<p>【ルーティング〔第3層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットとLAN ・IPアドレスとポート番号 ・ルーティング ・電話のネットワーク
第10回	<p>【ネットワーク・通信の信頼性〔第4層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コネクション型とコネクションレス型 ・Domain Name System ・名前解決に見るインターネットの信頼性
第11回	<p>【小テスト（第6回～第10回）】 【アプリケーションのふるまい〔第5層～第7層〕】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web, 電子メールやIP電話のしくみを例に - どのようにデータが受け渡されるのか - どのような機器をデータが流れるのか ・ネットワークセキュリティ - パケットフィルタ, ファイアウォール, アプリケーションゲートウェイ - 無線LANのセキュリティ
第12回	<p>【誤り検出・エラー訂正】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤りに対する耐性 ・パリティチェック, CRC, チェックディジット ・暗号化と電子署名
第13回	<p>【コンピュータシステムの構成】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの処理形態 ・集中処理と分散処理 ・サーバ・クライアントモデル ・クラスタ ・クラウド
第14回	<p>【コンピュータシステムの信頼性】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冗長化 ・信頼性の評価指標 ・MTBFと稼働率 ・信頼性を高める工夫
第15回	<p>【記憶の信頼性】を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの5大装置 ・半導体メモリの種類 ・補助記憶装置の種類 ・USBメモリや光ディスクの記憶の信頼性 ・データのバックアップ
第16回	<p>【定期試験】</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587025701	科目番号 / Subject code	05870257
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会とコンピューティング (情報化時代の仕事術)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 掲維		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 掲維		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 掲維		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	ICT基盤センター第2端末室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年次(情報社会とコンピューティング)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	amnesia@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日2校時(10:30 ~ 12:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業ではいくつかのライフハックについて演習をまじえて学び、日常生活や学習・研究の場で活用できるようになることを目標とする。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフハックについて理解する。 ・ライフハックを自らの学生生活で活用できる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業は、講義と演習を組み合わせて行う。講義内容の理解度を確認するために、各自1台のコンピュータを使用して操作練習と課題を行う。さらに、理解を深めるためにレポート課題も課す。		
授業内容/Class outline/Con	各回の内容は以下の通り計画しているが、状況に応じ適宜変更等を行う場合がある。		
キーワード/Key word	ライフハック, クラウド, スマートデバイス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業支援ツール上で提供する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中課題及び小テスト: 60%, 期末テストまたは課題: 40%, を予定している。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	<ol style="list-style-type: none"> 1 iOS か Android OS を搭載したスマートフォン、タブレットを保有しており、授業に持参できる学生の受講を希望する。 2 本授業は、1クラス当りの上限を30名程度に予定している。希望者が30名を超える場合、2クラスで授業を行う。 		
学生へのメッセージ/Message for students	自分のノートパソコンを持っている人は持参してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方について、授業支援ツール		
第2回	Life Hack		
第3回	パスワードの管理方法について		
第4回	クラウドストレージについて		
第5回	マインドマップ		
第6回	Todo		
第7回	GTD(1)		
第8回	GTD(2)		
第9回	バージョン管理(1)		
第10回	バージョン管理(2)		
第11回	数値演算・数式処理言語(1)		
第12回	数値演算・数式処理言語(2)		
第13回	アウトライナー・高機能エディタ		
第14回	総合演習		
第15回	まとめ		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587026101	科目番号 / Subject code	05870261
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会とコンピューティング (ソフトウェアの利用技術)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丹羽 量久		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丹羽 量久		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丹羽 量久		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 9:30 ~ 11:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	さまざまなアプリケーション・ソフトウェアを利用しながらそれらの便利さと限界を認識し、コンピュータを用いてさまざまな問題を解決していくために適切なアプリケーション・ソフトウェアを選択・活用していく方法を習得する。		
授業到達目標/Goal	解決すべき問題に応じて適切なアプリケーションソフトウェアを活用できる。 (~ , ,)		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業では数種類のアプリケーション・ソフトウェアを取り上げるが、適宜例示しながら関連事項の講義を行うとともに、演習により操作法と活用法を学ばせる。 データベースと電子書籍の単元については、総合的な課題に取り組ませる。		
授業内容/Class outline/Con	以下に各回の授業内容を示すが、状況に応じて適宜調整を行う予定である。		
キーワード/Key word	アプリケーション・ソフトウェア, データベース, 電子書籍		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて電子化資料を授業支援システムを通じて配布する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	各授業での演習内容, およびレポート課題のできばえを評価する		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席を原則とする。		
学生へのメッセージ/Message for students	仕事を効率的かつ効果的に進めていくための一策としてコンピュータの活用をあげることができません。いくつかのアプリケーション・ソフトウェアを利用していき過程で、データの整理法や表現法を学んでもらいます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	【ガイダンス】 ・授業の内容, 進め方, 評価方法等の概要		
第2回	【データベースソフトの利用技術】 ・データベースソフトの概要, データベース・システム, リレーション, 他 ・Microsoft Accessを用いたデータベース・システムの構築		
第3回	同上		
第4回	同上		
第5回	同上		
第6回	同上		
第7回	【電子書籍オーサリングソフトの利用技術】 ・電子書籍フォーマットEPUB, HTML5とCSS, 書誌情報, 他 ・EPUB作成ツールを用いた電子書籍の作成		
第8回	同上		
第9回	同上		
第10回	同上		
第11回	同上		
第12回	【画像演習ソフトの利用技術】 ・ビットマップ画像とベクトル画像, 画像編集ソフトの概要, レイヤー, 他 ・画像編集ソフトを用いたイラストの作成(編集)		

第13回	【統計解析ソフトの利用技術】 ・基本統計量の計算 ・グラフを用いた統計量の解釈
第14回	【総合演習】
第15回	【まとめ】
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587026201	科目番号 / Subject code	05870262
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会とコンピューティング (モバイルウェブアプリケーション開発入門)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古賀 掲維		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古賀 掲維		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古賀 掲維		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	ICT基盤センター第2端末室		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年次(情報社会とコンピューティング)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	amnesia@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2097		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日3校時(13:00~14:30)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	簡単な例題の作成を通じて、スマートフォンやタブレット等のスマートデバイスで動作するモバイルウェブアプリケーションの仕組みについて理解する。HTML, CSS, Javascript などのプログラミング言語の習得を通じて、モバイルウェブアプリケーションの作成技術を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイルウェブアプリケーションの仕組みについて説明できる。 ・HTML, CSSを用いたウェブページを作成できる。 ・Javascriptを用いたウェブアプリケーションを作成できる。 		
授業方法(学習指導法)/Method	授業は、講義と演習を組み合わせて行う。講義内容の理解度を確認するために、各自1台のコンピュータを使用して操作練習と課題を行う。さらに、理解を深めるためにレポート課題も課す。		
授業内容/Class outline/Con	各回の内容は以下の通り計画しているが、状況に応じ適宜変更等を行う場合がある。		
キーワード/Key word	アルゴリズム, プログラミング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業支援ツール上で提供		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中課題及び小テスト: 60%, 期末試験(または課題): 40%, を予定している。		
受講要件(履修条件)/Requirements	<ol style="list-style-type: none"> 1 iOS か Android OS を搭載したスマートフォン、タブレットを保有しており、授業に持参できる学生の受講を希望する。 2 本授業は、1クラス当りの上限を30名程度に予定している。希望者が30名を超える場合、2クラスで授業を行う。 		
学生へのメッセージ/Message for students	授業中にビデオ教材を用いますので、ヘッドフォンかイヤフォンを持参してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方について、授業支援ツール、プログラミング環境の整備		
第2回	HTML(1)		
第3回	HTML(2)		
第4回	CSS		
第5回	JavaScript(1)		
第6回	JavaScript(2)		
第7回	JavaScript(3)		
第8回	JavaScript(4)		
第9回	JavaScript(5)		
第10回	jQuery(1)		
第11回	jQuery(2)		
第12回	jQuery Mobile		
第13回	総合演習(1)		
第14回	総合演習(2)		

第15回	まとめ
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587043901	科目番号 / Subject code	05870439
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会とコンピューティング (プログラミングの事始め)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	野崎 剛一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	野崎 剛一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	野崎 剛一		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	2年次(情報社会とコンピューティング)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nozaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	ICT基盤センター2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2217		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～水17:00～19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	プログラムの文法や作法, データ構造, アルゴリズム設計や実装を通して, 情報社会基盤の重要な要素であるプログラミング言語について学ぶ。プログラミング言語の機能を理解し, 演習を通じて実際に利用して, 簡単なプログラムの読解や作成ができるようにする。		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング言語の文法や作法を理解できる。 ・プログラムを読解できる。 ・アルゴリズムにそってプログラムを作成できる。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業は, 講義と演習を組み合わせで行う。講義内容の理解度を確認するために, 各自1台のコンピュータを使用して操作練習と課題を行う。さらに, 理解を深めるためにレポート課題も課す。		
授業内容/Class outline/Con	各回の内容は以下の通り計画しているが, 状況に応じ適宜変更等を行う場合がある。		
キーワード/Key word	アルゴリズム, プログラミング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業支援システム (LACS: e-learningシステム) 上で提供		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業中課題及び小テスト: 60%, 期末試験(または課題): 40%		
備考 (URL) /Remarks(URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方について, 授業支援ツール, プログラミング環境の準備		
第2回	プログラミング入門(1)		
第3回	プログラミング入門(2)		
第4回	プログラミング入門(3)		
第5回	プログラミング入門(4)		
第6回	プログラミング入門(5)		
第7回	アルゴリズム入門(1)		
第8回	アルゴリズム入門(2)		
第9回	アルゴリズム入門(3)		
第10回	アルゴリズム入門(4)		
第11回	アルゴリズム入門(5)		
第12回	総合演習(1)		
第13回	総合演習(2)		
第14回	総合演習(3)		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		